



2026年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2025年7月30日

上場会社名 東映アニメーション株式会社 上場取引所 東
 コード番号 4816 URL <https://www.toei-anim.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 高木 勝裕
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役 (氏名) 伊東 浩治 (TEL) 03-5318-0639
 配当支払開始予定日 —
 決算補足説明資料作成の有無 : 有
 決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2026年3月期第1四半期の連結業績(2025年4月1日~2025年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年3月期第1四半期	19,488	△15.5	6,578	△1.6	7,141	△0.6	5,229	△1.4
2025年3月期第1四半期	23,059	16.0	6,684	219.0	7,187	82.5	5,306	70.0

(注) 包括利益 2026年3月期第1四半期 5,030百万円(△31.6%) 2025年3月期第1四半期 7,357百万円(32.6%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2026年3月期第1四半期	25.57	—
2025年3月期第1四半期	25.95	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2026年3月期第1四半期	184,364	149,838	81.3
2025年3月期	190,980	153,198	80.2

(参考) 自己資本 2026年3月期第1四半期 149,838百万円 2025年3月期 153,198百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年3月期	—	0.00	—	41.00	41.00
2026年3月期	—	—	—	—	—
2026年3月期(予想)	—	0.00	—	41.00	41.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2026年3月期の連結業績予想(2025年4月1日~2026年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	48,100	△1.8	16,200	△4.7	16,500	△3.5	11,800	△3.4	57.70
通期	88,000	△12.7	26,000	△19.8	26,700	△19.5	19,100	△19.1	93.40

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更 : 無
新規 一社(社名) - 、除外 一社(社名) -

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

2026年3月期1Q	210,000,000株	2025年3月期	210,000,000株
------------	--------------	----------	--------------

② 期末自己株式数

2026年3月期1Q	5,503,629株	2025年3月期	5,503,629株
------------	------------	----------	------------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

2026年3月期1Q	204,496,371株	2025年3月期1Q	204,496,506株
------------	--------------	------------	--------------

(注) 当社は、役員報酬BIP信託を導入しており、当該信託が保有する当社株式を期末自己株式数及び期中平均株式数の算定上控除する自己株式数に含めております。

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は : 無
監査法人によるレビュー

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社グループが本資料の発表日現在において入手可能な情報から得られた判断に基づいており、リスク及び不確実性を包含しております。業績予想の前提となる仮定及び業績予想のご利用に当たっての注意事項については、添付資料P.3「1. 経営成績等の概況(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当四半期連結累計期間の経営成績の概況	2
(2) 当四半期連結累計期間の財政状態の概況	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
(4) 利益配分に関する基本方針	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(セグメント情報等の注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	9

1. 経営成績等の概況

(1) 当四半期連結累計期間の経営成績の概況

当第1四半期連結累計期間において、当社グループでは「ワンピース」、「ドラゴンボール」シリーズ、「プリキュア」シリーズ、「デジモンアドベンチャー」シリーズといった主力作品群からの安定的な収益の確保・拡大を図りました。

この結果、当第1四半期連結累計期間における売上高は、194億88百万円（前年同期比15.5%減）、営業利益は65億78百万円（同1.6%減）、経常利益は71億41百万円（同0.6%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は52億29百万円（同1.4%減）となりました。

セグメントごとの経営成績は次のとおりであります（セグメント間取引金額を含む）。

なお、セグメント損益は、営業利益及び営業損失ベースの数値であります。

①映像製作・販売事業

劇場アニメ部門では、「映画おしりたんてい スター・アンド・ムーン」（2025年3月公開）を前期から継続して公開しました。前年同期に公開継続していた映画「鬼太郎誕生 ゲゲゲの謎」の反動減により、減収となりました。

テレビアニメ部門では、「ワンピース」、「キミとアイドルプリキュア♪」、「おしりたんてい」、「ゲゲゲの鬼太郎 私の愛した歴代ゲゲゲ」、「ふしぎ駄菓子屋 銭天堂」の5作品を放映しました。前年同期と比較して放映作品数が減少したことにより、若干の減収となりました。

コンテンツ部門では、前年同期好調に稼働した映画「THE FIRST SLAM DUNK」のブルーレイ・DVDの反動減により、減収となりました。

海外映像部門では、前年同期に追加ロイヤリティ収入を計上した配信権販売や、「ドラゴンボール」シリーズのビデオ化権販売の反動減により、大幅な減収となりました。

その他部門では、前年同期好調に稼働した映画「THE FIRST SLAM DUNK」、映画「鬼太郎誕生 ゲゲゲの謎」をはじめとした、国内の映像配信権販売の反動減により、大幅な減収となりました。

この結果、映像製作・販売事業全体では、売上高は54億46百万円（前年同期比40.4%減）、セグメント利益は11億31百万円（同52.2%減）と減収減益となりました。

②著作権事業

国内著作権部門では、「ドラゴンボール」シリーズのゲーム化権販売が前年同期の勢いには至らなかったこと等から、減収となりました。

海外著作権部門では、「ワンピース」、「デジモン」シリーズの商品化権販売が好調に稼働したことから、増収となりました。

この結果、著作権事業全体では、売上高は117億55百万円（前年同期比5.1%増）、セグメント利益は65億84百万円（同18.0%増）と増収増益となりました。

③商品販売事業

商品販売部門では、「プリキュア」シリーズのショップ事業が好調に稼働したものの、前年同期に好調に稼働した映画「THE FIRST SLAM DUNK」の商品販売の反動減により、減収となりました。

この結果、売上高は15億40百万円（前年同期比32.0%減）、セグメント利益は82百万円（同56.3%減）と減収減益となりました。

④その他事業

その他部門では、催事イベントやキャラクターショー等を展開しました。「ガールズバンドクライ」の催事が好調に稼働したこと等から、増収となりました。

この結果、売上高は8億22百万円（前年同期比28.9%増）、セグメント損失は47百万円（前年同期は、31百万円のセグメント利益）と増収減益となりました。

(2) 当四半期連結累計期間の財政状態の概況

(資産)

流動資産は、前連結会計年度末に比べて7.0%減少し、1,189億51百万円となりました。これは、仕掛品が19億84百万円増加し、現金及び預金が44億98百万円、受取手形及び売掛金が60億70百万円、流動資産のその他が4億17百万円それぞれ減少したこと等によるものです。

固定資産は、前連結会計年度末に比べて3.8%増加し、654億13百万円となりました。これは、投資有価証券が24億33百万円増加したこと等によるものです。

この結果、総資産は、前連結会計年度末に比べて3.5%減少し、1,843億64百万円となりました。

(負債)

流動負債は、前連結会計年度末に比べて12.3%減少し、298億47百万円となりました。これは、流動負債のその他が17億66百万円増加し、支払手形及び買掛金が24億55百万円、未払法人税等が32億39百万円それぞれ減少したこと等によるものです。

固定負債は、前連結会計年度末に比べて24.9%増加し、46億78百万円となりました。これは、固定負債のその他が8億77百万円増加したこと等によるものです。

この結果、負債合計は、前連結会計年度末に比べて8.6%減少し、345億26百万円となりました。

(純資産)

純資産合計は、前連結会計年度末に比べて2.2%減少し、1,498億38百万円となりました。これは、その他有価証券評価差額金が12億7百万円増加し、利益剰余金が31億60百万円、為替換算調整勘定が14億3百万円減少したこと等によるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2026年3月期の連結業績予想につきましては、現時点では2025年5月16日に公表いたしました業績予想からの変更はありません。

なお、実際の業績は、当社グループの事業を取り巻く経済環境、市場動向、為替レートの変動等様々な要因により、記述されている業績見通しとは大きく異なる結果となり得ることをご承知おきください。

(4) 利益配分に関する基本方針

当社は、株主の皆様に対する利益還元を重要な政策の一つとして考えており、財務の健全性、成長が期待されるビジネス機会への投資、株主さまへの利益還元のバランスを取りながら安定した配当を継続的に実施していくことを基本方針としております。

内部留保金については、「IPを戦略の軸に据えたグローバル事業展開」をより一層強化し持続的成長と中長期的な企業価値向上に資するような事業機会やグローバル企画に積極的に投資いたします。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2025年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	82,474	77,975
受取手形及び売掛金	29,376	23,305
有価証券	92	99
商品及び製品	1,708	1,732
仕掛品	8,281	10,265
原材料及び貯蔵品	151	128
その他	6,021	5,604
貸倒引当金	△165	△162
流動資産合計	127,940	118,951
固定資産		
有形固定資産	8,558	8,576
無形固定資産	1,281	1,225
投資その他の資産		
投資有価証券	20,703	23,137
長期預金	30,500	30,500
その他	1,998	1,977
貸倒引当金	△2	△2
投資その他の資産合計	53,199	55,612
固定資産合計	63,039	65,413
資産合計	190,980	184,364
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	22,125	19,670
未払法人税等	5,279	2,039
賞与引当金	592	333
その他	6,038	7,805
流動負債合計	34,035	29,847
固定負債		
役員株式給付引当金	229	229
退職給付に係る負債	172	227
その他	3,343	4,220
固定負債合計	3,745	4,678
負債合計	37,781	34,526
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,867	2,867
資本剰余金	3,409	3,409
利益剰余金	133,030	129,869
自己株式	△754	△754
株主資本合計	138,553	135,392
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	7,945	9,153
繰延ヘッジ損益	△2	△4
為替換算調整勘定	6,702	5,298
その他の包括利益累計額合計	14,645	14,446
純資産合計	153,198	149,838
負債純資産合計	190,980	184,364

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2024年4月1日 至2024年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自2025年4月1日 至2025年6月30日)
売上高	23,059	19,488
売上原価	12,855	9,101
売上総利益	10,204	10,386
販売費及び一般管理費	3,519	3,808
営業利益	6,684	6,578
営業外収益		
受取利息	281	233
受取配当金	169	201
持分法による投資利益	62	68
為替差益	—	5
その他	15	56
営業外収益合計	528	565
営業外費用		
支払利息	—	0
投資事業組合運用損	4	2
為替差損	20	—
その他	0	0
営業外費用合計	25	2
経常利益	7,187	7,141
特別利益		
投資有価証券売却益	—	376
特別利益合計	—	376
特別損失		
減損損失	—	25
持分変動損失	28	—
特別損失合計	28	25
税金等調整前四半期純利益	7,159	7,492
法人税、住民税及び事業税	1,519	1,931
法人税等調整額	333	330
法人税等合計	1,852	2,262
四半期純利益	5,306	5,229
親会社株主に帰属する四半期純利益	5,306	5,229

四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)
四半期純利益	5,306	5,229
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	139	1,168
繰延ヘッジ損益	0	△2
為替換算調整勘定	1,898	△1,403
持分法適用会社に対する持分相当額	11	38
その他の包括利益合計	2,051	△199
四半期包括利益	7,357	5,030
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	7,357	5,030
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(セグメント情報等の注記)

I 前第1四半期連結累計期間(自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:百万円)

	映像製作・ 販売事業	著作権事業	商品販売 事業	その他事業 (注)1	計	調整額 (注)2	合計 (注)3
売上高							
日本	3,807	4,470	2,199	355	10,832	—	10,832
北米	1,275	2,427	—	—	3,703	—	3,703
中南米	486	397	—	—	883	—	883
欧州	1,669	1,472	—	159	3,301	—	3,301
アジア	1,904	2,367	67	0	4,339	—	4,339
顧客との契約から 生じる収益	9,142	11,136	2,266	514	23,059	—	23,059
外部顧客への売上高	9,142	11,136	2,266	514	23,059	—	23,059
セグメント間の内部 売上高又は振替高	3	48	—	123	174	△174	—
計	9,145	11,184	2,266	638	23,234	△174	23,059
セグメント利益	2,367	5,579	189	31	8,168	△1,483	6,684

- (注) 1. 「その他事業」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであるイベント事業であります。
2. セグメント利益の調整額△1,483百万円には、セグメント間取引消去2百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△1,486百万円が含まれております。全社費用は、主に当社の総務・経理部門等の管理部門に係る費用であります。
3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第1四半期連結累計期間(自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:百万円)

	映像製作・ 販売事業	著作権事業	商品販売 事業	その他事業 (注)1	計	調整額 (注)2	合計 (注)3
売上高							
日本	1,667	4,227	1,464	625	7,986	—	7,986
北米	1,298	3,091	—	—	4,390	—	4,390
中南米	424	803	—	—	1,227	—	1,227
欧州	401	1,772	8	164	2,347	—	2,347
アジア	1,649	1,818	66	3	3,537	—	3,537
顧客との契約から 生じる収益	5,441	11,713	1,539	794	19,488	—	19,488
外部顧客への売上高	5,441	11,713	1,539	794	19,488	—	19,488
セグメント間の内部 売上高又は振替高	5	41	1	28	75	△75	—
計	5,446	11,755	1,540	822	19,564	△75	19,488
セグメント利益 又は損失(△)	1,131	6,584	82	△47	7,751	△1,173	6,578

- (注) 1. 「その他事業」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであるイベント事業であります。
2. セグメント利益又は損失(△)の調整額△1,173百万円には、セグメント間取引消去2百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△1,175百万円が含まれております。全社費用は、主に当社の総務・経理部門等の管理部門に係る費用であります。
3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費（無形固定資産に係る償却費を含む。）は、次のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)
減価償却費	202百万円	177百万円